

お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	当院へ救急搬送となった産科出血症例の検討
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2025年3月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 2018年1月1日から2022年7月31日までに鹿児島市立病院へ救急搬送された、産科出血の方
使用する情報等	【基本情報】年齢、既往歴、妊娠分娩歴(初産/経産)、不妊治療歴、分娩方法、分娩誘発、単胎/多胎、産科合併症、診断名 【搬送元施設での情報】臨床的状況(出血量、バイタルサイン、酸素投与量)、治療内容 【当院での情報】臨床的状況(出血量、バイタルサイン、酸素投与量)、臨床検査所見、治療内容、救急科処置、臨床結果(入院日数、ドクターデリバリーの有無、総出血量、総輸血量等) 等
研究の概要	産科危機的出血は減少傾向ですが、我が国では依然として主要な母体死亡原因の1つです。産科危機的出血においては、早急な高次施設への搬送や、輸血の実施が求められています(『母体安全への提言2018』)。しかし、早急な高次施設への搬送や輸血の実施にも関わらず、高次施設での対応に難渋する症例も少なくありません。臨床診療において、どのような症例が高次施設での対応に難渋するのかといった疑問が生じましたが、それについての臨床研究の報告は少ないのが現状です。今回の研究では、産科出血で高次施設である当院への救急搬送症例について、過去の症例を検証し、出血が多い症例の臨床的特徴を調べることにしました。出血が多い症例の臨床的特徴が明らかになることで、搬送元病院での対応の改善点や、高次施設受け入れの際の臨床予測の一助になる可能性があります。
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され、病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し、対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。
研究の資金源	本研究を実施するにあたり、資金提供は受けていません。
利益相反	特にありません。
お問い合わせ先・相談窓口	病院ホームページにおいて研究について公開し、お問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。 なお、既に解析・発表公開後のデータ等については、その方のデータ削除の措置が困

<p>難になる場合があります。</p> <p>研究への使用の拒否の意思を表明されても、鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。</p>
<p>研究責任者 氏名：庄 隆成 所属：産婦人科</p> <p>連絡先：鹿児島市立病院</p> <p>〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号</p> <p>TEL：099-230-7000（代表） FAX：099-230-7111</p>